

2021年3月期 第2四半期決算説明

たてものを、いきものに

LIVZON

大成温調株式会社

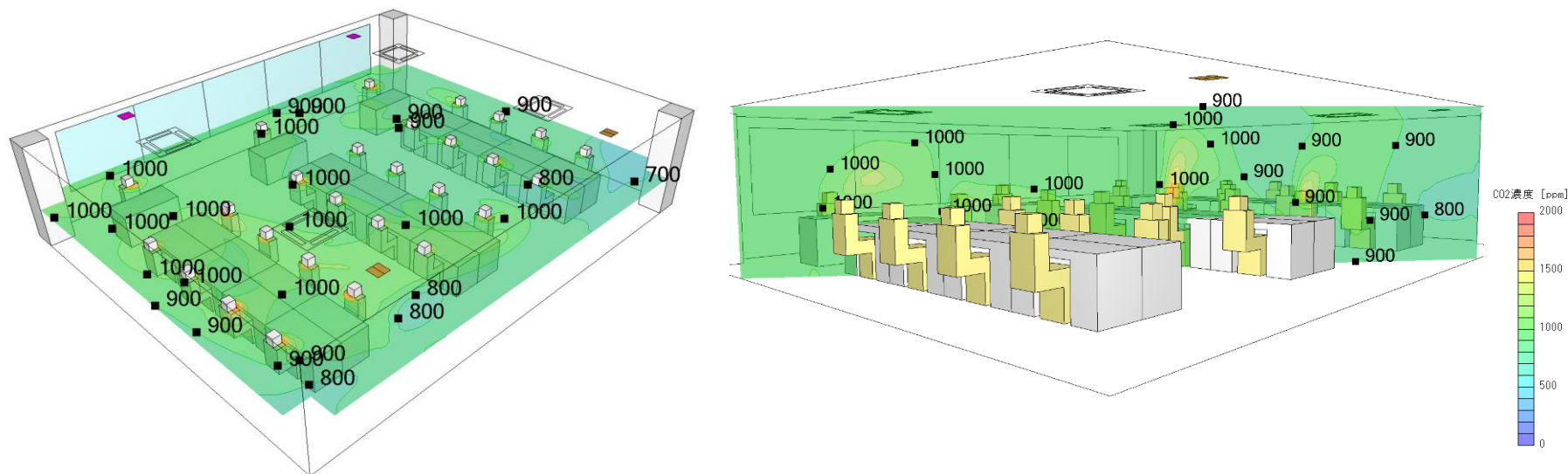
建築設備のスペシャリスト

病院・学校・商業施設・高層マンションなどの一般設備工事から、恒温恒湿システム・クリーンルームなどの産業用設備工事の設計・施工・メンテナンスを展開。
アリーナ、劇場、アミューズメント施設など特殊施設でも強みを発揮。



新型コロナウイルス対策技術への取り組み

気流シミュレーションを用いたCO₂濃度解析による換気状況の予測



新型コロナウイルスとCO₂濃度

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、十分な換気を行なうことが推奨されている。現状では、感染リスクを確実に回避させる換気手法は確立されていないが、呼気中のCO₂は空气中に拡がっていくため、CO₂濃度は換気状況を判断する目安の1つとなる。

たてものを、いきものに

LIVZON

2021年3月期第2四半期決算サマリー①

(連結P/L)

単位：百万円

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)
売上高	22,142	22,555	413	1.9
売上総利益 (売上総利益率)	2,583 (11.7%)	2,510 (11.1%)	▲73	▲2.8
営業利益 (営業利益率)	375 (1.7%)	284 (1.3%)	▲91	▲24.2
経常利益 (経常利益率)	453 (2.0%)	371 (1.6%)	▲82	▲18.1
親会社株主に帰属する四半期純利益 (当期純利益率)	218 (1.0%)	444 (2.0%)	226	103.8

- ・売上高は、前期比で微増となった。国内事業にて、繰越工事量が過去期より多く、大型案件の完成が複数あったため、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であった。
- ・営業利益は、前期比で減少となった。海外最大拠点のハワイにおいて、新型コロナウイルス感染症に伴う急速な事業環境の悪化の影響を受けたため。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に完成工事補償引当金戻入額を計上したこと等により前期比103.8%増となった。

たてものを、いきものに

LIVZON

2021年3月期第2四半期決算サマリー② (連結B/S C/F)

財政状況の概要

単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)	増減理由
純資産	23,468	23,241	▲227	▲1.0	四半期純利益が配当額を下回ったため利益剰余金が13百万円減少、及びその他有価証券評価差額金が161百万円減少
総資産	44,839	38,680	▲6,159	▲13.7	期末に比べ、中間期末は総工事が減少することに伴い、債権・債務共に減少
1株当たり純資産 (BPS) (円)	3,592.33	3,557.58	▲34.75	▲1.0	上記、「純資産」の減少に伴い減少
自己資本比率 (%)	52.3	60.1	7.8	—	総資産の減少が純資産の減少を上回ったことにより増加

キャッシュフローの概要

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)	2021年3月期第2四半期概況
営業活動によるC/F	130	3,394	3,264	—	売上債権の回収や未成工事受入金の増加が仕入債権の支払いを上回ったこと等による
投資活動によるC/F	709	185	▲524	▲73.9	主に定期預金の払い戻しによる収入及び有価証券の売却による収入（前年四半期は定期預金の払戻19億円）
財務活動によるC/F	▲561	▲477	84	—	主に配当金の支払いによる
現金及び現金同等物の期首残高	9,502	8,218	▲1,284	▲13.5	
現金及び現金同等物の増加額	179	3,034	2,855	—	
現金及び現金同等物の期末残高	9,681	11,252	1,571	16.2	営業活動によるキャッシュ・フローが大幅なプラスになったことにより前年同期より増加

たてものを、いきものに

LIVZON

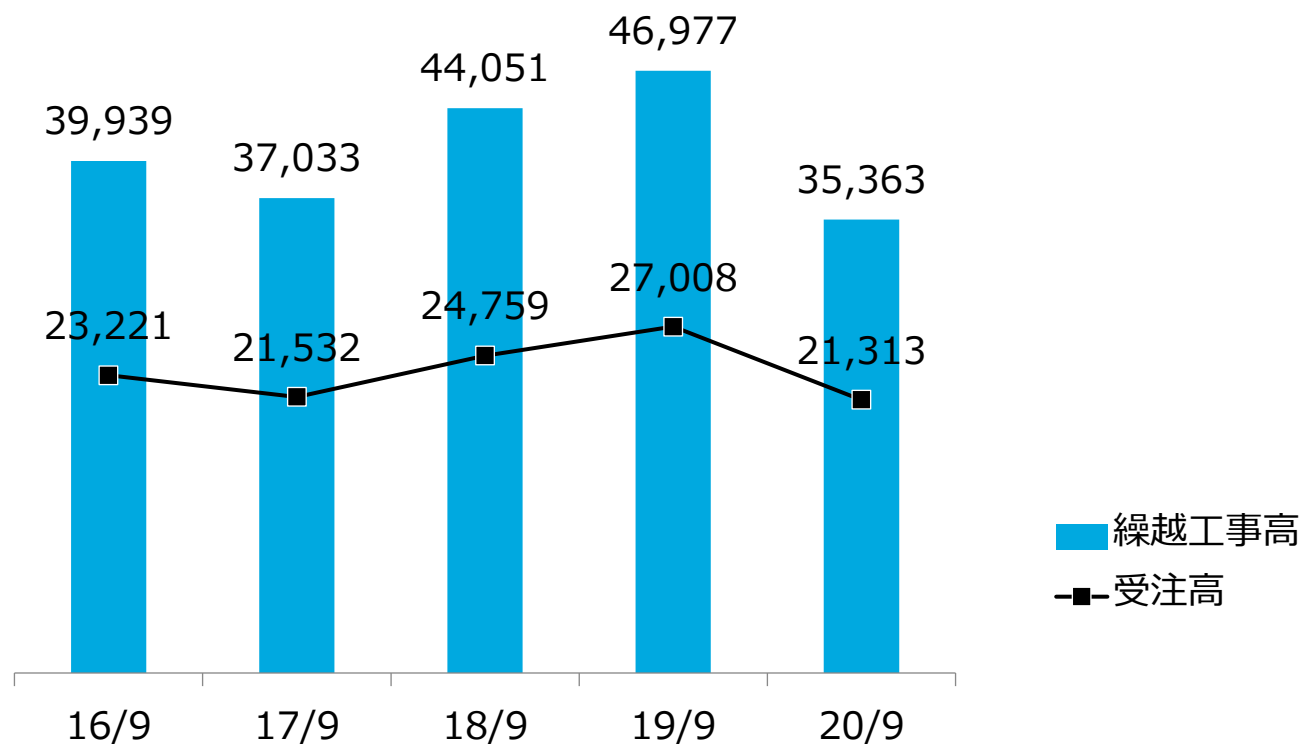
2021年3月期第2四半期決算サマリー③ (セグメント別損益)

単位：百万円

	セグメント売上高		セグメント利益		概況
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	
日本	18,109	18,467	157	240	繰越工事量が過去期より多く、大型案件の完成が複数あったことによる
米国	3,000	3,087	274	43	コロナウイルス感染症の影響に伴う、観光業をはじめとするハワイ経済の停滞による
中国	957	988	▲75	10	コロナウイルス感染症拡大後の、政府による経済回復の方針に伴う、市場環境の好転、繰越高が多かったことによる
インド	0	0	▲15	▲12	閉鎖に向け手続き中
フィリピン	0	0	▲5	0	閉鎖に向け手続き中
オーストラリア	75	12	39	2	年度末に向け復調見込み

受注の状況（個別）

単位：百万円



- ・新型コロナウイルス感染症の影響が、第1四半期の受注活動に色濃く出たことによる。
- ・繰越工事高は、前期比で約3割減となった。前年下期～今期第1四半期の受注が伸び悩み、上期に複数の大型案件の完成があり、消化が進んだことによる。

2021年3月期通期業績予想

単位：百万円

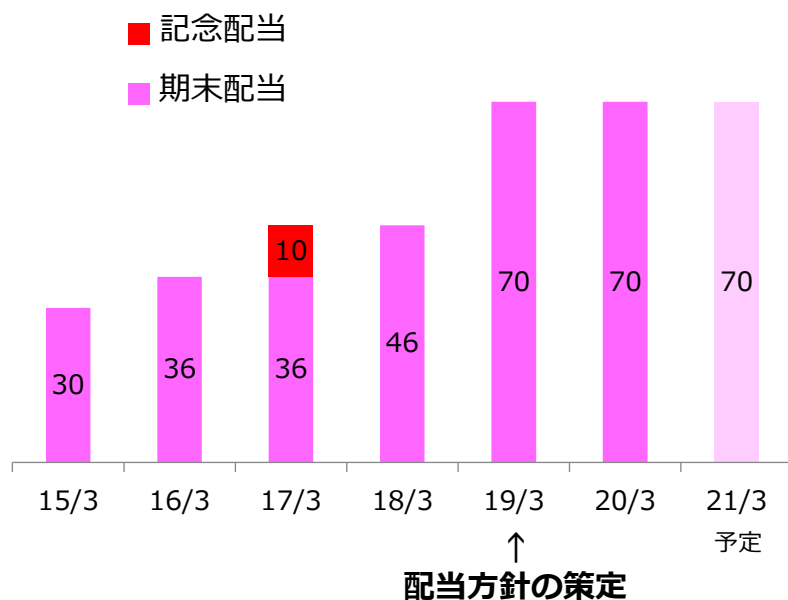
	2020年3月期	2021年3月期(予想)	増減	増減率 (%)
売上高	58,074	51,600	▲6,474	▲11.1
営業利益	1,879	1,150	▲729	▲38.8
経常利益	2,132	1,200	▲932	▲43.7
親会社株主に帰属する当期純利益	1,477	900	▲577	▲39.1

- ・ 第1四半期の受注伸び悩みによる期内受注期内完成高の減少及び、今後の受注競争の激化を勘案し、第2四半期の受注量は回復傾向にあったが、8月公表の通期予想値を据え置いた。
- ・ 生産性向上、働き方改革の一環として、テレワーク環境の構築に積極的な投資を行っている。一方、一部社内プロジェクトを見直す等、経費削減施策を展開している。メリハリある経費消化を行い、利益確保を目指す。

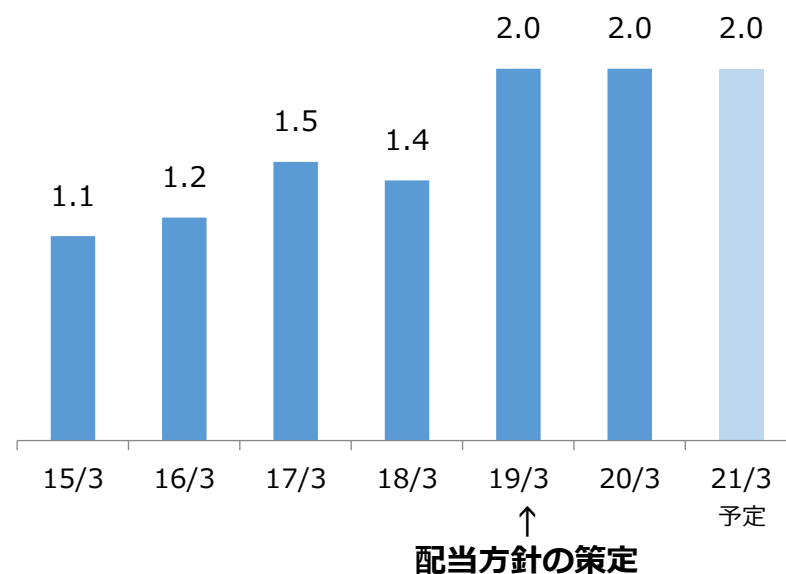
配当の推移

2019年3月期において、企業価値向上へ向けた総合的な資源配分の観点からDOE（連結純資産配当率）2%を目処とする配当方針を策定。

一株あたり配当金



DOE（連結純資産配当率）



中期経営計画の重点施策

企業価値の増大 × 社会への還元

「魅力あふれる会社」へVersionUP!

I



競争力の向上

- ① 顧客基盤と直需受注の強化
- ② コスト競争力の強化と調達網の拡充
- ③ 技術力の強化

II



生産性の向上

- ① 働き方改革の推進
- ② 生産性向上への投資の拡大

III



企業価値の向上

- ① 認知度および企業ブランドの向上
- ② コーポレートガバナンスの強化

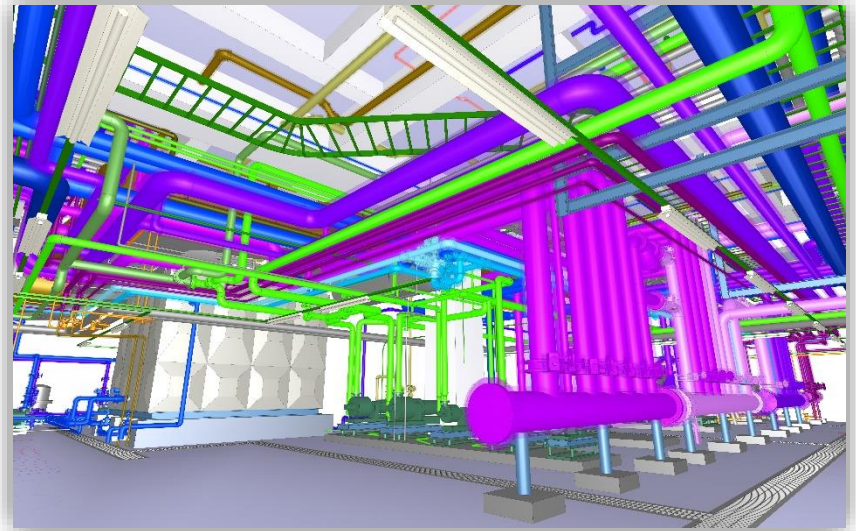
中期経営計画達成に向けた取り組み

テーマ	項目	現状報告（2021年3月期の取り組み状況）
競争力の向上	顧客基盤と直需受注の強化	<ul style="list-style-type: none"> 設計部門を管理・統制するための「技術統括部」の発足 直需案件への対応強化のため一級建築士事務所登録
	コスト競争力の強化と調達網の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 「TOPパートナーズ」における各種取り組み（教育研修の開放・事務手続きの支援） 工事原価データベースの構築（標準施工量の把握）
	技術力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な施工BIMの取り組み 複数大学との共同研究を推進 新型コロナウイルス対策技術への取り組み
生産性の向上	働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革推進委員会の発足
	生産性向上への投資の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 施工管理支援アプリケーションの導入 ドローン技術等への積極的な投資
企業価値の向上	認知度および企業ブランドの向上	<ul style="list-style-type: none"> 新ブランド「LIVZON」の立ち上げ
	コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関による役員会実効性の評価実施の継続 任意の指名・報酬委員会の設置

積極的な施工BIMの取り組み

3Dスキャン・モデリングによるBIMの活用

改修工事における既存建物の3Dスキャン・モデリングによるBIMの活用を推進しております。施工品質の向上、コスト低減、工期短縮等により顧客満足度の向上を目指してまいります。



ドローン技術等への積極的な投資

ブルーイノベーション株式会社と資本提携契約を締結

国内外のビル・工場等の施工途中、改修工事の際の点検を自動化する「総合点検システムプラットフォームの共同開発」に向けた協業を目的とした資本提携契約を締結しました。



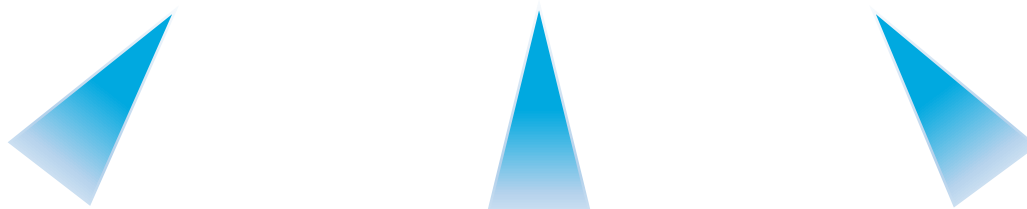
(イメージ図)



新ブランドのコンセプト

たてものを、いきものに

LIVZON



「LIVE」

生きることや暮らし
を表す

「Z」

未知の可能性に挑む姿勢
を表す

「ON」

起動や温度を表す

持続的成長に向けて



「総合たてもものサービス企業」へ

お問い合わせ先



【IR担当窓口】

総合企画室 企画部 事業戦略課

E-mail: ir-info@taisei-oncho.co.jp

【ご注意事項】

本資料に記載されている当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因に加え突発的な内部要因により直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。